

約15年前に関野という探検家兼医師が、人類の移動(グレートジャーニー)を逆に辿る旅に出た。その記録を読み、DVDを観進めている。

アラスカに人類が到達したのが1万年前で、一気に南アメリカ最南端にたどり着き、その間に巨大哺乳類の多くを絶滅させた。

情報化によるあらゆる「速さ」に驚くが、実はかつてより人の行動は意外と素早いのだなと痛感する。だから、将来への想像力を意識して持ち続けなければ、ある年齢になって突然に後悔するやもしれぬ。同時に狩猟のヤノマミ族の如く、現在＝今を充実して生きる事こそが人の幸せなのかもしれぬ。おそらく答えを捜しているうちに、気づけば年をとり、死を迎えているのだろう。

開業以来の付き合いの患者さんの幾人かが今月亡くなった。彼らから学んだ事を今生きている方々に伝えることも我々の使命だ。そんな経験がスタッフのそれぞれに積み重なることで味のある医療介護が出来上がっていくのだと思う。

ハーブ内科皮フ科 理事長 竹内 秀俊



ケアマネジャー

先日数年前に他界されたご家族様と会う機会があり、当時の記憶がよみがえると同時に支援をさせていただいた気持ちを思い出す事ができました。

介護保険がスタートして、ご家族様も手探りの状態で介護をしていた事、寝る時間を削ってオムツ交換をしていた事など様々な記憶が蘇ってとても懐かしい気持ちになりました。

現在ではその介護者の方が、友人の方に「認知症とは?」「介護とは?」などお話をされている姿をみて、このような地域のカ、友人関係の力が非常に大切になってくる事をとても実感する事ができました。

運動療法デイサービス

台風が去り、秋晴れの良い日に、地震を想定した“緊急避難訓練”を行いました。

訓練のことは利用者様には『内緒』でやってみました。

東北大震災以来、耳にする機会の増えた「ピンポーン、ピンポーン」という警告音を携帯電話から取り入れ、本番さながらの訓練です。

ベッドで寝ている方、車いすで移動する方、自分で歩ける方など、職員がいち早く把握し、順次ハーブの駐車場まで誘導しました。

皆さん落ち着いて、パニックになることなく、予想より早いタイムで避難完了できました。みなさんご協力ありがとうございました。

今回の試みで、私たち職員も日ごろからの準備や心構えの大切さを学び、今後に生かしていけるよう話し合いました。

頭の体操コーナー

※くもん学習療法を「頭の体操」と呼んでいます。



学習療法の効果は利用者様の脳の活性化だけではなく、学習を支援するスタッフにも変化がみられます。

利用者様とのコミュニケーションの機会が増えることはもちろん、利用者様個人をより深く知ることができ、日ごろのケアの改善にも繋がります。また、学習療法を実施することで笑顔と笑い声にあふれ、明るくイキイキとした雰囲気となります。利用者様、スタッフともに成長していきたいものですね!

学習療法の効果や、ハーブでの取り組みをホームページで紹介しています。ぜひご覧ください。

ハーブ内科

検索

発行元: (医)ハーブ内科皮フ科/(株)ハーブライフケア
〒470-2206 知多郡阿久比町横松宮前 67
TEL 0569-49-2752/FAX 0569-49-2753